



吉子川



令和7年7月1日(火)
学校だより NO. 26
中島村立吉子川小学校
発行責任者 校長 木戸美智子

【めざす児童像】

○あかるく たくましい子ども (体)
○やさしく おもいやりのある子ども (徳)
○めあてをもって がんばる子ども (知)

【よしコッピ】

吉子川小学校
のあやめの花に
住む小鳥の妖精

今月のいきいき中島っ子 学びの
十か条 (7月)
家庭学習で定着率アップ
今日の学びを確実に

◇ スマホ・ゲーム機等インターネットにつながる機器の所持状況 ◇

下の表に示したのは、今年度の所持状況です。皆さんはこの数値をどのように感じますか？
私は、正直多いと感じています。学校だよりNo.7、No.8、No.16 でも注意を呼びかけてきましたが、**複数の専門家が、スマホを持たせるのは中学生でも早いと警鐘を鳴らしています。**それだけ事件に巻き込まれる、子どもの成長に悪影響をもたらすなど危険な事例が多発しているのでしょう。

	自分のスマホ有	自分のゲーム機有	自分のタブレット等有	ネットトラブル有
1年	24%	47%	0%	0%
2年	31%	31%	31%	0%
3年	14%	73%	27%	0%
4年	52%	43%	24%	0%
5年	54%	92%	8%	0%
6年	19%	69%	25%	6%
全校	31%	58%	20%	1%

学校では一人一台タブレットが貸与され、日常の授業でも積極的な活用をお願いしています。今後は家庭への持ち帰りも推進していきます。それだけ「AIドリル」等は、一人一人の学びに欠かせない存在になっていきます。一方で、使い方による弊害も多くなるのです。だからこそ**「情報モラル」が大切になっています。**一人一人が責任ある安全な活用がで

きるよう、適切に判断できるスキルと心を育てる必要があるのです。

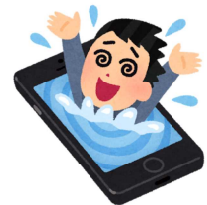
以前、東北大学の川島教授(脳トレの開発者)の講演を聞いたことがあります。川島教授は、「子どもの長時間のゲームプレイ習慣は、言語知能に悪影響をもたらす」と明言していました。会場的高校生が「ゲームを控えたら成績が上がりますか？」と質問したのですが、「そのとおりです。ゲームを控えたら受験は大丈夫です！」と回答していました。ゲームをしていると、一見集中しているように見えますが、向こうから押し寄せてくる事態にただ対応しているだけで、それは強い刺激の連続です。その刺激に慣らされると、刺激の少ない日常に耐えられず、どうしても「心ここにあらず」になってしまうのだそうです。

ポイントは「長時間」だと思います。「**節度をもって」「時間を決めて」行うことです。**また、寝る前には「ゲーム、スマホをリビングに置く」というのも有効ですし、**ルールを破ったときのきまり**も必要です。家庭内のルール、スマホの使用について、最後の砦になるのが保護者の皆様です。是非お子さんと話し合う機会をもってください。

そのきっかけとして、**7月4日(金)の情報モラル教室への積極的な参加をお願いします。**

◇ スマホ(ゲーム・ネット)依存と学力 ◇

文部科学省が中3・小6生を対象に実施している「全国学力・学習状況調査」の結果、小中全教科において、**スマホ使用時間が増えるほど成績が低下する「スマホ学力低下現象」傾向**がみられました。また、東北大学が、仙台市立のすべての小中学生約7万人を対象として行った研究では、「平日2時間以上勉強し、スマホを4時間以上使用している子」の成績は、「勉強時間30分未満で、スマホを全く使用していない子」よりも低いこ



と、LINE等の通信アプリを**長時間使用している子は、勉強時間の長さに関係なく成績が低くなり、たとえやめたとしても、成績が上がらない**という驚きの結果が発表されました。これは、ゲーム、スマホを長時間使用した時に、脳の前頭前野(物事を考えたり、自分の行動をコントロールする力に関係する部分)の働きが低下することや、前帯状回(注意の集中や切り替え、衝動的な行動を抑える領域)が小さくなることに起因していると考えられています。**保護者として、①スマホやゲームの所有権は親がもち、使用自体を親が管理すること、②使用に関するきまりを作り、毅然とした態度で守らせること等、与える際の危機管理を徹底していくことが、これからはより求められるようになる**と思います。